

たのしくはたらく 新春希望の号 たより

第3号

2015.1.15

亀岡市東本梅町大内大坪 101-35
TEL・FAX(0771)-26-2015
運営法人 (株)みんなではたらく
編集者：前田徳宏

明けましておめでとうございます

「たのしくはたらく」は 今年で3年目を迎えます
ご支援・ご協力を賜わるみなさんがた そして仲間たちの
業務に対する真摯な姿勢に感謝申し上げます
今年もまた新しい挑戦に向け計画を立てつつあります
なお一層のお力添えも頂戴できますよう お願い申し上げます

2015年はこんなになったら・・・！って みんなで語り合いました

今年 2015 年は、底冷えのする雪の中で迎えました。当事業所も世間並みに、5 日月曜日からの初出勤。まず、畑にそのまま収穫できずに残ってしまった「丹波黒」を抜き、防獣よけネットに干す作業から新年が始まりました。

数日後、今年に向かう意気込みなどを全員で語り合いました。これを座談会的に記載するには誌面が全く足りなくなるので、私がある程度まとめ直してその様子を綴ることにしましょう。

●年の初めは初詣。どこに行きましたか？

意外な結果が… 行ったのはたった 2 名のみ。A 君は毎日初詣のはしごをしたらしいが、これから機会があれば… という者を除くと皆無。最近の若者？は行かなくても平気なんだ。私などの年になると別府に旅行しても、観光センターに尋ねてまで初詣したのにな！ まあ行く機会を失ったとかいろいろあるんだろうなあ。



●年明けに今年の抱負を教えてください。

場も和んできたので、当然この質問が……人それぞれの個性が出るんだなあと思う。「野菜作りに頑張って集中したい」と云う B 君。他にも「失敗を恐れずに何事にも挑戦したい」「作業を素早くする」「トラブルを起こさずに他の人と落ち着いて過ごすことができた」などいろいろな話が出てきたが、どれも本人の弱点を言い当てているなど感じ、それが出来れば自信もつくのだろうと思えてきた。「落ち着いて過ごすことができた」は抱負ではなく、昨年を振り返っての安堵が見て取れる。またいろいろなことを思いながらも上手くまとめきれないなど、「……」「……」なかなか自分の意見として喋ることが出来ない仲間も幾人かいます。単純に思ったまを云えばと思うが、それこそ個性なんだなあと感じてしまう。「抱負と云えるかどうか分からないけど ちょっとでも貯金ができれば良いなあと思ってます」こんな

抱負こそが誰にでもあるんだろうなあ。

●仕事以外で何をしてみたいですか？

やはり最多は旅行でした。「三重県」(伊勢神宮のことかな)「出雲市」「北海道・東京・オーストラリア」「東北か北海道」「呉や佐世保など海軍と関連のある所」とマニアックに答えた C 君。希望先とは違っても今年も全員で社員旅行しようと誓い合いました。また趣味をいかしたい者も……「パウンドケーキ作り」「マンドリンコンサートがしたい」。なかには「なにか資格を取りたい」という者もいます。それらの夢をかなえるには、やはりちゃんと仕事をしよう

と云う経営者の私。

●昨年出来なかったのはどんなこと？

「将来のためにもうちよつと貯金がしたかった」まさに本音だろう。その他は仕事に関して「野菜種を蒔くとき、穴の開け方にもっと気をつける」「昨年は風邪を引いたり、腰痛になったりで畑仕事が出来なかったと感じています。今年こそは腰痛にならないよう気をつけたい」「野菜を上手く育てることができなかった。今年はしっかり育てたい」みんな真剣に考えているんですね。同様の意見は幾つも出た。D 君は「話をあまり聞かず、どの作業をするのか解らないときがあったから、出来るだけ話を聞くようにする」よう分かっているやんか！ その思いを大切に……と思うのみ。

●一般就労を目指したいですか？

またそれに関して調べていますか？

私たちはそのためにこういう場所を立ち上げたのだから、非常に興味があった。 < 4 頁に続く >

「きょうされん」の加盟事業所でじゅずつなぎをしてゆこうというこの企画。新年号は最初から勝手に「圭の家」さんと決めていました。これら事業所の母体は、社会福祉法人信和福祉会。記載されている内容を読んでみるとなんとなくほっこりします。私たちの事業所と比べるからでしょうか？と云ってもそう詳しく知っている訳ではありません。「きょうされん口乙ブロック（口丹波と乙訓地域）」の一員として各種の会合でお会いする程度ですが…。これを読んだとき「皆さんゆったりと時を過ごされて…」と思ってしまう。一体その素がなになのかを行間より一緒に探りませんか？
(企画：塩谷)

圭の家（就労継続支援B型事業所）

職員 安達 一生

圭の家は、亀岡市の篠町にあり、こころの病で悩む人や障がいのある人が、自立した生活が出来るように作業の場や憩える場を提供しています。現在は18歳～79歳までの方々が40名通所されています。日中活動として9時半から15時まで下請け作業を中心に作業しています。菓子箱の箱折りや組み立て、ダイレクトメールの袋入れや宛名のシール貼り、商品の袋入れや袋閉じ、小型部品の組み立てなどの軽作業を中心に行っています。また自主製品として、かわいい絵柄を刺しゅうした台ふきんやリサイクル自転車の販売なども行っています。ある79歳のメンバーさんは、朝一番に通所され、毎日元気に600箱くらい箱折りの作業をされています。その姿をみて、他のメンバーさんや私達職員は「働くことへの姿勢」を肌で感じています。また、圭の家をステップアップされ現在は一般就労されている方もたまにお手伝いに来て下さり、一般就労を目指しているメンバーさんにアドバイスをして下さります。圭の家では年間行事として、一泊旅行、春のレクリエーション、ハートフェスタ、秋のレクリエーション、歌の交流会、忘年会なども行っています。今年の一泊旅行ではUSJに行き大阪の黒門市場を観光する予定です。USJではハリーポッターが目玉ですが、個人的にはUSJで売っている骨つきの大きい肉を丸かじりして、黒門市場でたこや



きや串カツや海鮮丼などを食べるのを楽しみにしています。これからも、圭の家では幅広い年

代のみなさんと一緒に働くことにより、たくさんの方のことに感じ、学び、メンバーさんと共に職員一同も成長していけたらいいなと思います。これからも宜しくお願いします。

支援センター 圭（地域活動支援事業・指定特定相談支援事業）

職員 西 裕美

亀岡市の馬堀駅近くにあるセンターは、こころの病で悩む人や障がいのある人が気軽に立ち寄り、ほ



っとできる事を大切にしています。地域社会との交流や自立した日常生活や社会生活を送れるように、昼食づくりや美化活動を中心とした様々なプログラムに取り組んでいます。昼食づくりではみんなでアイデアを出しながら、栄養面を考えた安くて美味しい料理が出来るように工夫しています。美化活動では地域の皆さんから「頑張っているね」「ありがとう」などの言葉を頂きます。多い時には1日200本以上のポイ捨てタバコを拾うときもあります。その他にも、体力づくりのためのウォーキングや卓球教室への参加、月例のミーティングや勉強会などのプログラムに取り組んでいます。センターのメンバーは20歳代から60歳代と幅広いです。日常の何気ない会話から生活での困りごと、病気のことなど安心して話せる仲間や職員がいます。ワイワイと楽しく笑いの絶えないセンターです。就労などステップアップを目指す人、日中の居場所として過ごす人など利用の仕方も様々です。福祉の事から社会生活、その他様々な困りごとの相談支援事業もしています。これからもメンバーと共にほっとできて安心できるセンターを作って行きたいと思っています。

3名はしたいと率直に答えた。D君は漠然としてみたいと云った。「年が開けたのでハローワークに調べに行く」と云う者もいた。



E君が云った「時間は長くなっても、もう少しお金を貰えるところに行きたい」これこそが就Aの在籍者の率直な意見ではないか？「自分で農業活動をやり、農業系企業を起こしたい。それまではここにいます」F君のような意見もできました。また間逆の「ずっとここで仕事をしたい」「考えたこともない」という人も数名います。「わからない」と答えた者も当然いました。いろんな意見があり、どの考えも私たちには納得出来るもので、「したい」は心強い限りです。長時間いろんなことを語り合いましたが、ついこんなことも聞いてみたくになりました。

●今までの事務所の雰囲気はどうですか？

今後はどうなれば良いですか？

真っ先に答えたのはG君「明るくて良い事業所の雰囲気だと思います」しめしめと思っただもつかの間。「事業所の雰囲気は良いほうだと思うけど、もうちょっと規律があったほうが良いと思います」H君はいつもそう思っていたのか？知らなかった。長くなるので割愛する部分もあるが「……………私一人に任さないで、みんなで働くんだから、みんなで分担して……やってもらいたい。団結力に欠けているところもある」専門的になって貰いたいと思っていたが、こういうふうを感じる者もいることも知った。「ふつうですね」この回答は結構こたえる。最後にやっぱりきた。「たばこを除けば快適かと思うんだけど……」想像どおり。「愛

煙家としては、寝ずに考えます」「そんなはずないでしょう。直す気なさそうだから……」

●その他なんでも自由に話して！

だいぶ疲れてきたのか、これについては誰からも発言がなかった。

昨年はこんな話し合いもしなかったが、こういう機会はいろんな意見が聞けて興味深かった。これらをどう活かすかは、今後とも語り合う機会を多くもつこと以外にはないだろう。

みなさんお疲れ様、ご苦労様でした。(記事:塩谷)

突然の音楽会！なにがどうなったの？

年末近くのお昼休みに突然ギターと歌声が……楽譜も置いて本格的。何じゃこれは？実はギターの講習会らしい。過去1年10ヶ月近く昼休みと云えば、テレビを見るか・寝ているか・スマホを触るかしかなかったが、ある仲間がギターを弾きたい者に教えている。こういう光景って良いよね！でもその後はないようだ。こういう機会が続くことを期待したいが……そ



のうちコンサートで冬の仕事作りに一役かってくれたら。そんな間違ってもないけどね。

事業所でも今年の指針を全員に伝達

今年も「2015年年頭所感」を全員に示しました。活動の基本「植えて・育てて・収穫して・販売する」ことを具体的に指示。特に当事業所は「販売する」ことに関しては非常に弱い。今年はその改善をみんなで考えよう・方向付けはする旨を、初出勤日の朝礼で約30分程度、新たな挑戦の方向付けと共に伝達しました。

編集後記

交通事故に遭った影響で休職を余儀なくされ、気は焦るばかり。そうこうしている年末に股関節にばい菌が入り腫れ上がって緊急入院。昨秋以降まさに踏んだり蹴つたりの日々が続く。この期間に通信はほぼ完成。編集長は誰？(T.M)

新年号の座談会企画は私には興味深かった。こうだろうと思っていたのと全く違う反応なども多くあり、改めて考えさせられた。この1年企業指針の実施と共に、立てた目標を大切に、それに向かって邁進して欲しいと思う。(T.S)